



## 子どもには手伝いをさせましょう



みなさんは、子どもの時、どのような手伝いをされたでしょうか？

私の場合は(今から50年以上も前になるのですが・・・)、「釜を洗い、湯を沸かす等の風呂の準備」「弟や妹の子守」「食事の時に箸や食器を並べること」「父親と一緒に洗車の手伝い」等をしたことを覚えています。

昔は、いろいろな場面で子どもの手が必要だったのでしょう、私だけでなく、どこの家の子どもたちも手伝いをしていたものです。

手伝いをすることで、学べるがたくさんあります。「家事をいつも黙々とやっている母親の大変さと感謝の気持ち」「手伝い後の褒められる喜び」「汗をかくことによる爽快感」「家族のためになっている有用感」等々。手伝いは人の成長にとってとても大切なものです。

みなさんの家庭では子どもにどのような手伝いをさせておられるのでしょうか。子どもには「手伝いはいいから勉強をしてちょうだい」と言っておられるのではないのでしょうか。それでは、子どもが手伝いから学べる大切なことを放棄することになります。

この夏休みには、家庭にいる時間がたくさんあります。子どもにはしっかり手伝いをさせてみられてはいかがですか。

ある調査で、「生活体験、お手伝いが多く、生活習慣が付いている子どもほど、自己肯定感が高い傾向がみられる」という結果が出ています。(青少年の体験活動等に関する実態調査(平成26年度))

ちなみにどのような項目で問われたのか記載してみますと下記のとおりです。

### 「生活体験」に関する質問項目

- ・タオルや雑巾を絞ったこと
- ・ナイフや包丁で、果物の皮をむいたり、野菜を切ったこと 等

### 「お手伝い」に関する質問項目

- ・買い物のお手伝いをすること
- ・食器をそろえたり、片づけたりすること 等

### 「生活習慣」に関する質問項目

- ・朝、食事をとること
- ・家であいさつをすること 等

### 「自己肯定感」に関する質問項目

- ・今の自分が好きだ
- ・体力には自信がある 等

「自己肯定感」が高い人は、自分のことが好きで自信があるので、大きな壁にぶち当たっても乗り越えるように努力します。自分のことを大切にし、他の人も大切にすることで人をいじめたり、攻撃をしたりするようなことはしません。「自己肯定感」とは人が生きていくうえで最も大切な感情です。

このような「自己肯定感」を育てる手伝いを子どもから奪ってはならないのではないのでしょうか。今日から、少しでも子どもに手伝いをさせてみられませんか。